

女性と若者の 声を反映させ、 共同して未来に 輝く鹿角をつくる

本市の人口動向は、若年層や子育て世代の女性が市外に流出している状況にあり、将来にわたって本市が持続可能で活力のあるまちであり続けるためには、特に女性と若者を選ばれるまちづくりが重要となります。

そのため、進学や就職で一旦市外に転出した若い世代に、「ふるさとに戻ってきたい」と思ってもらえるよう、高校卒業までの間に、郷土を愛する心を育むことが重要であると考えています。キャリア教育やふるさと教育を推進しながら、職業観や郷土愛の醸成につなげていくことにより、ふるさとを誇り、地域に貢献しようとする強い意思を育む教育を進めます。

さらに、鹿角の歴史や産業、伝統、文化などについて学ぶ機会を創出するほか、域学連携による大学などの知の活用や学びの実践を通じて、その成果を地域に還元する仕組みづくりをすることで、若者の人材育成を進めます。

努めます。

また、人口減少や少子高齢化の進展に伴い、地域活動の維持が困難になっていくことやコミュニティが弱体化することが懸念されるため、コミュニティの維持に欠かすことができない自治会の基礎的な活動や活動拠点の整備を支援し、集落の再生や地域づくりを担う地域人材の確保・育成を進めます。

また、地域の貴重な伝統文化の保存継承により、地域文化の向上を図るとともに、芸術・文化に親しむ機会を創出することで、新たな担い手の育成につなげます。

豊かな自然と伝統文化を活かし、 品格と風格のある 街をつくる

十和田八幡平国立公園の豊かで美しい自然と、世界文化遺産などの魅力が調和した、品格と風格のあるまちにしていきたいために、都市基盤の整備を進めます。

土地利用については、都市計画マスタープランや景観計画を基本に、中心市街地の活性化に取り組みなが

ら、地域経済の維持・増進に寄与するコンパクトなまちづくりを推進します。

道路交通網については、交通量を基に整備の必要性を検討し、幹線道路の整備を進めるとともに、冬期間の安全かつ円滑な除排雪体制を維持し、道路交通の安全を確保します。

また、上下水道施設の計画的な更新と維持管理を進めるほか、消防・救急・防災に関する施設や資機材などを計画的に整備し、市民の安全・安心を確保します。

居住環境については、公営住宅や公園の適正な維持管理を行うとともに、老朽化した公共施設については、継続や廃止のあり方を検討し将来的な財政負担の軽減を図ります。

加えて、観光・教育文化・スポーツの活動拠点との連携を図りながら、さまざまな世代や都市との交流を促進し、賑わいを創出します。



関市長より



私は、公約に5つのビジョンを掲げていますが、市政の推進にあたっては、その策定の過程で多くの市民の皆さまからのご意見が反映された第7次鹿角市総合計画との調和を図りながら、公約の実現を目指してまいります。

そのためには、国・県とのパイプを強固にすること、近隣自治体や関係団体との結び付きを強めていくことが重要であり、その考えは、市長就任後、より一層強くしています。

本市の発展と市民福祉のさらなる向上に向け、市民の皆さまとともに議論を深め、鹿角の英知を結集し、全身全霊をかたむけ、市政運営に取り組んでまいります。

行政 報告

令和3年第4回定例会

市民の声を行政に反映

コロナワクチン接種を10月末に完了予定

世界文化遺産を活用した地域活性化

令和3年第4回鹿角市議会定例会が9月3日から22日間の会期で開かれました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■新型コロナウイルス感染症対策

全国的にこれまでにない感染拡大が続く中、県内でも8月以降に新規感染者が増加し、感染が急速に拡大しています。

県では、8月11日から県独自の感染警戒レベルを、これまでの「レベル3」から「レベル4」に引き上げています。これを受けて、市では、緊急事態宣言などが発出されている地域との往来自粛はもとより、新たに、「県外からの移動者や普段一緒にいない人との会食、大人数・長時間にわたる会食は避けていただく」ことなど、感染リスクの回避について、ホームページやメール配信サービス、コミュニ

ティFMを通じて呼びかけています。

感染の収束が見通せず、予断を許さない状況が続いているため、危機感を一層強く持ち、感染予防対策に取り組んでいきますので、引き続き、皆さまのご理解と協力をお願いします。

■市民との対話行政

市民の皆さまから市政に対するご意見やご提言などを積極的に伺い、ニーズや地域課題の詳細な把握と、市政への関心を高めてもらうことを目的として、市長が直接市民との対話の「キャッチボールを行う」「いつでも市長室」をスタートしました。まちづくりの原点は、市民一

人ひとりの思いと行動を結集して地域を住みやすくすることで、寄せられたご意見を地域活性化のための施策に反映していきます。

■関係人口の拡大

取り組み開始から4年目を迎えた「鹿角家」の会員の中から、本市への初めての移住が実現しました。

これは、SNSを活用して、旬な情報や地域の話題など、本市の魅力を継続して発信したことで、本市への愛着が育まれ、移住につながったものと考えています。鹿角家の会員登録者数は、8月31日現在、221人となっており、引き続き、情報発

信を強化し、関係人口の拡大を図ります。

■低所得世帯・子育て世代に対する経済的支援

新型コロナウイルス対策生活応援事業については、8月31日現在で、対象となる市民税非課税世帯および公務員支給対象者を除く児童手当受給世帯の3,915世帯、6065人に対し、1人につき1万円分のプレミアム付き商品券を交付しています。11月30日が申請期限ですので、申請漏れがないよう、引き続き周知していきます。



新型コロナウイルスワクチン集団接種



市民との対話「いつでも市長室」